

はち便り

7月号

みなさん、こんにちは。新型コロナウイルスの影響を受け、当初の予定から変更となった学校もあるかとは思いますが、多くの中学校では定期テストを実施する時期となりました。1年生にとっては入学後初めてのテストですし、3年生にとっては入試に向けた内申点との兼ね合いでも非常に重要なテストです。

テストといえば、Z会進学教室でも1~2ヶ月に1回は月例テストなどのテストを実施しています。3年生であれば、これから多くの模試を受けていくでしょう。

今回は、それらのテストを解き直す際の注意点について詳しくお話します。

学校や塾の先生は、よく「**テストの解き直しをしましょう**」と言います。みなさんは実際に解き直しをしていますか？解き直しをしているという方は、どのように解き直しを行っていますか？解き直しを行うことはもちろん大切ですが、**その進め方も重要です**。

例えば数学の場合、「①問題の意味が分からず、式が立てられなかった」「②式は立てられたけど、計算を間違えた」「③時間がなくて解けなかった」というように、同じ間違いでも様々なケースが考えられます。当然のことながら、それぞれのケースで省みるべき点は変わります。②であれば落ち着いて計算すれば正解できたでしょうし、③であれば時間配分に注意していれば解けたかもしれません。

模試の解き直しポイント

多くの模試では、1問ごとの正答率が公表されているので、**問題によって解き直しの優先順位をつけることができます**。「みんなは正解しているのに自分は間違えてしまった」問題は最優先で復習するべきですし、「正答率が5%と非常に低い」問題であれば必ずしも解けるようになる必要はないかもしれません。正答率の低い問題に関する判断は学力や志望校にもよるので、気になる方は先生に相談してみましょう。

定期テストの解き直しポイント

学校の定期テストであれば、間違えた問題の反省点のほかに、基礎的な問題と応用問題の配分、単答形式と記述形式の問題の配分など、先生ごとの**出題傾向も知ることができます**。出題傾向が分かれば、対策もしやすいですね。このように、解き直しを通してテストを受けていた時には気付かなかったことも見えてきます。

私はよく「**テストは受けただけで50%、解き直しをしてあと50%**」と言います。これはテストに限ったことではありませんが、大事なことは「ミスをしないうこと」ではなく「**同じミスを繰り返さないこと**」です。そのためにも、「テストは受けたら必ず解き直しをする」という意識を持ち、次回のテストでより良い成績を取るにはどう対策すべきかを考えましょう。この思考の積み重ねが、みなさんの内申点や偏差値の向上につながります。

7月のスケジュール

日	曜	受付	授業		講演会など
1	水	14～21			
2	木	14～21			
3	金	14～21			
4	土	14～21			中1・中2学力診断テスト 17:30～20:20
5	日	10～17	7月①		
6	月	14～21			
7	火	休室			
8	水	14～21			
9	木	14～21			
10	金	14～21			
11	土	14～21			
12	日	10～17	7月②		中3公立トップ高適性診断 9:30～13:00 夏期講習準備テスト① 9:30～13:00
13	月	14～21			
14	火	休室			
15	水	14～21			
16	木	14～21			
17	金	14～21			
18	土	14～21			
19	日	10～17	7月③		夏期講習準備テスト② 9:30～13:00
20	月	14～21			
21	火	休室			
22	水	14～21			
23	木	14～21			
24	金	14～21			夏期講習準備テスト③ 9:30～13:00
25	土	14～21			
26	日	10～17		実力テスト	
27	月	14～21		夏期講習(中3)開始	
28	火	14～21			
29	水	14～21			
30	木	14～21			
31	金	休室			